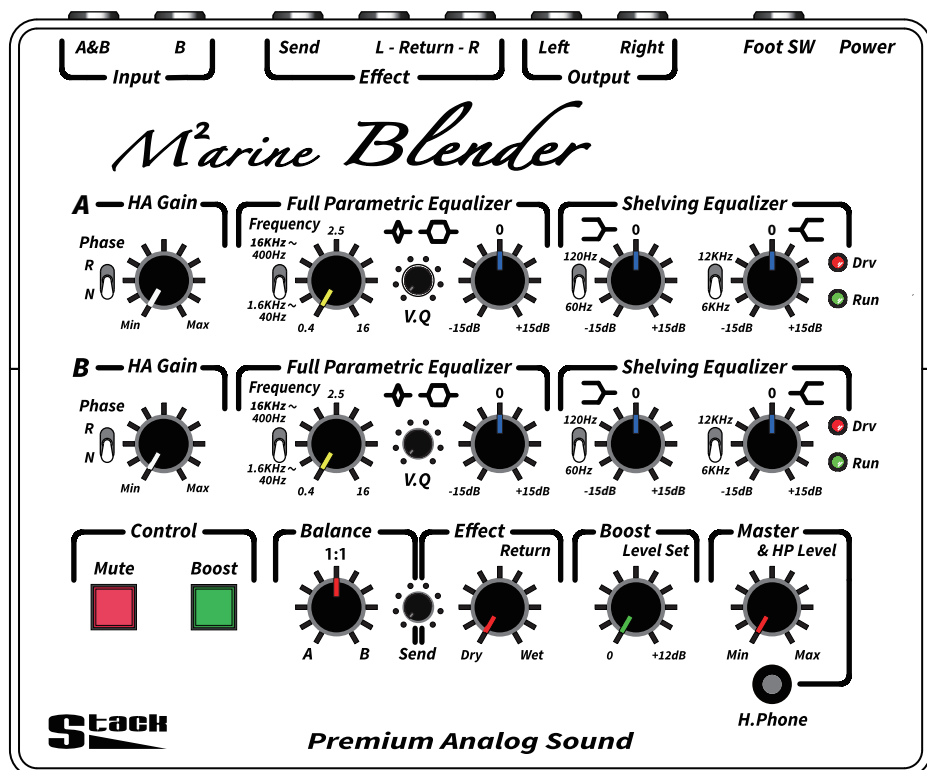


M²arine Blender

マリン ブレンダー



意匠登録済み

このたびは、スタックの製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、ピックアップを搭載した弦楽器用プリアンプです。

ピエゾ・マグネチックを問わず、幅広くご使用いただけます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

ご使用の前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。

また、取扱説明書と別紙の保証書は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	2
付属品とスタンド組立図	4
楽器および各機器への接続	5
各部機能の概略	6
各部機能の詳細	8

イコライザー補足説明	10
音声系統図	11
仕様	12
オプション製品	13
保証とアフターサービス	14

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



危険・警告を含む「注意」事項です。



しなければならない「指示」事項です。



してはいけない「禁止」事項です。



警告

以下の事項を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



必ず実施

- 本機には付属の専用ACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、本機の破損や、火災や感電の原因となることがあります。
※音質の劣化を防ぐため、過度な保護回路は搭載していません。
- 入力電圧は、交流100V～220V (50Hz/60Hz)の範囲でお使いください。付属の専用ACアダプターの出力は直流24Vでセンタープラスになっていますので、他の機器(エフェクターなど)には絶対に使用しないでください。その機器を破損するおそれがあります。
- ACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターやその近辺のほこりなどは定期的にとってください。ほこりなどがたまると、絶縁不良となり火災の原因になります。
- ACアダプターを抜くときは、必ずアダプターの本体(金属でない部分)を持ってください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電ややけどの原因になります。



禁止

- 本機やACアダプターを水などの液体でぬらしたりしないでください。火災や感電の原因になります。雨天・降雪時の野外や、水辺での使用は特にご注意ください。
- 本機の上に、水などが入った容器や小さな金属物をのせないでください。こぼれたり、本機の中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターのコードの上に重い物をのせないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。特に、布類などで覆われたコードに気づかず重い物をのせたり、コードが本機の下敷きになることは起こりやすいことですので、十分にご注意ください。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損し、火災や感電の原因になります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



分解禁止

- いかなる場合でも、本機およびACアダプターの分解は絶対に行わないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、販売店または弊社にご依頼ください。
※本機には特殊ネジロック剤を使用しています。
※弊社エンジニア以外による分解がみとめられた場合は、保証期間にかかわらず修理対象外となります。
- 本機を改造しないでください。火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜く

- 雷が鳴りだしたら、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください。



接触禁止

- 落雷のおそれがあるとき、ACアダプターが接続されたままの場合は、ACアダプターには絶対にふれないでください。感電の原因になります。



注意

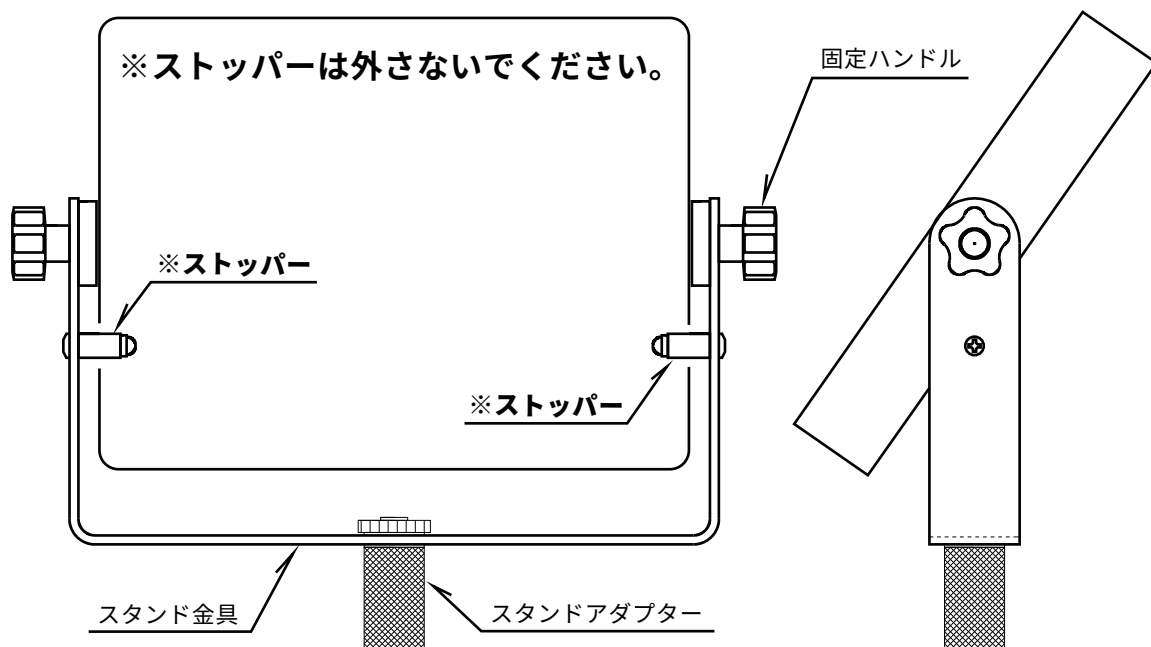
- ACアダプターのコードが傷んだら、販売店または弊社まで交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜く

- 万一、本機やACアダプターを高所から落下させたり、外観を著しく破損させた場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店または弊社にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。
- 万一、煙が出たり、変なおいや異音がするなどの異常がみとめられたときや、本機の中に水などの液体や異物が入った場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意



[図 - 1]

⚠ 注意

以下の事項を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。



禁止

●スタンド金具のストッパーは外さないでください。(図-1参照)

ストッパーを外した状態で使用すると、本体とスタンド金具の間に指や手が挟まれて大けがを負うおそれがあり、大変危険です。

※スタンドアダプターは取り外しても問題ありません。

●火災、感電、けがなどを避けるため、次のような場所には置かないでください。

- ・調理場や暖房器具のそばなど、油、蒸気、熱があたりやすい場所。
- ・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、異常に温度が高くなる場所。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所。

●ACアダプターは、布類で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもり、変形したり、火災の原因となることがあります。



注意

●マイクスタンドなどに取り付けて使用するときは、接続コードに引っかかって本機を転倒させないように、コードの引き回しに十分お気をつけください。



ACアダプターを抜く

●本機を移動するときは、ACアダプターをコンセントから抜き、接続コードを外してください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

●長時間本機をご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

正しくお使いいただくために

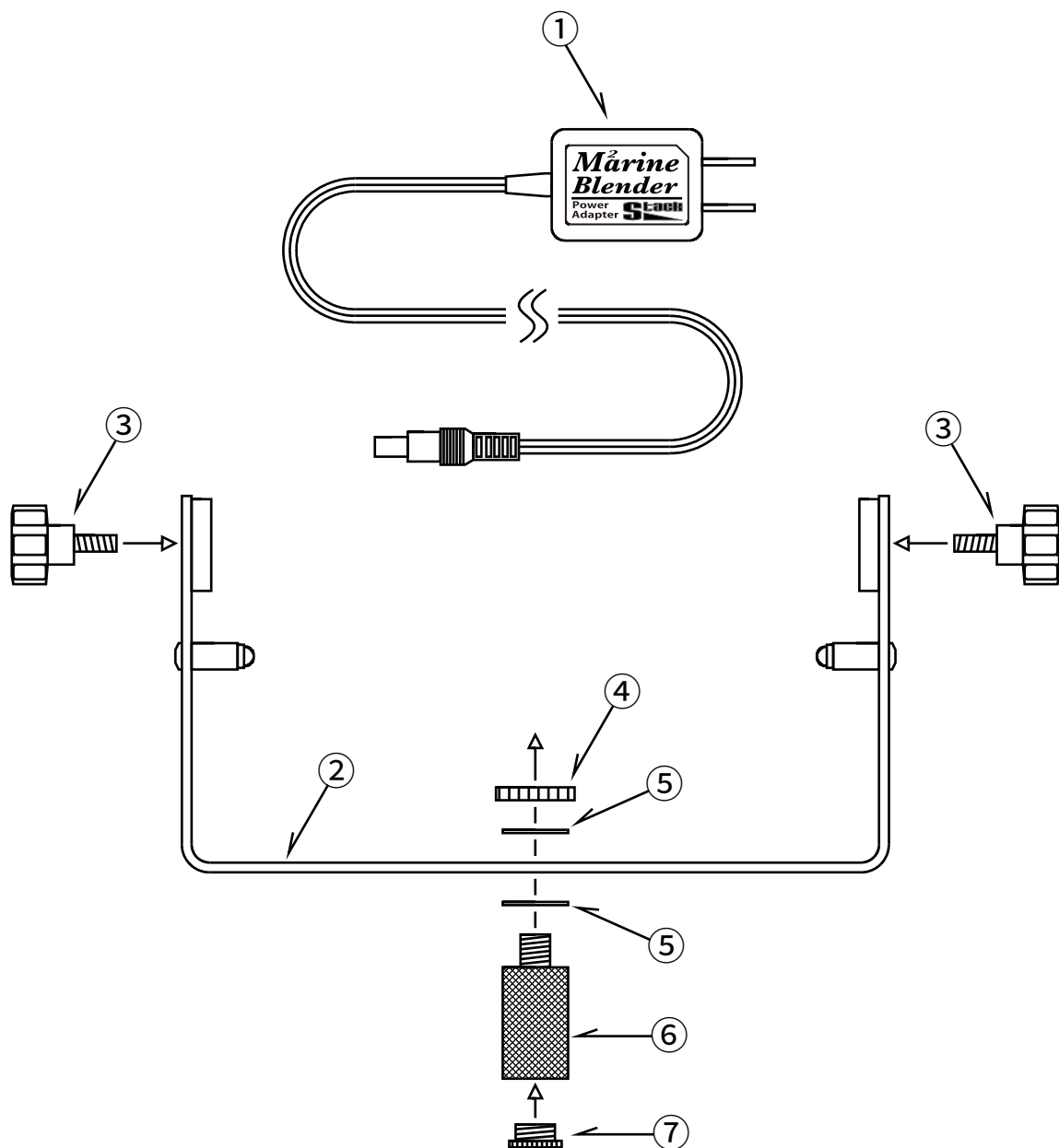
●携帯電話からの影響について

本機のすぐそばで携帯電話を使用すると、本機にノイズが入ることがあります。携帯電話は、本機から離れた場所でご使用ください。

●お手入れについて

スイッチ、ボリューム、接続端子などの摩耗部品は、使用とともに性能が劣化します。劣化の進行度合は、使用環境などにより大きく異なりますが、劣化そのものを完全に避けることはできません。劣化した摩耗部品の交換は、販売店または弊社へご相談ください。

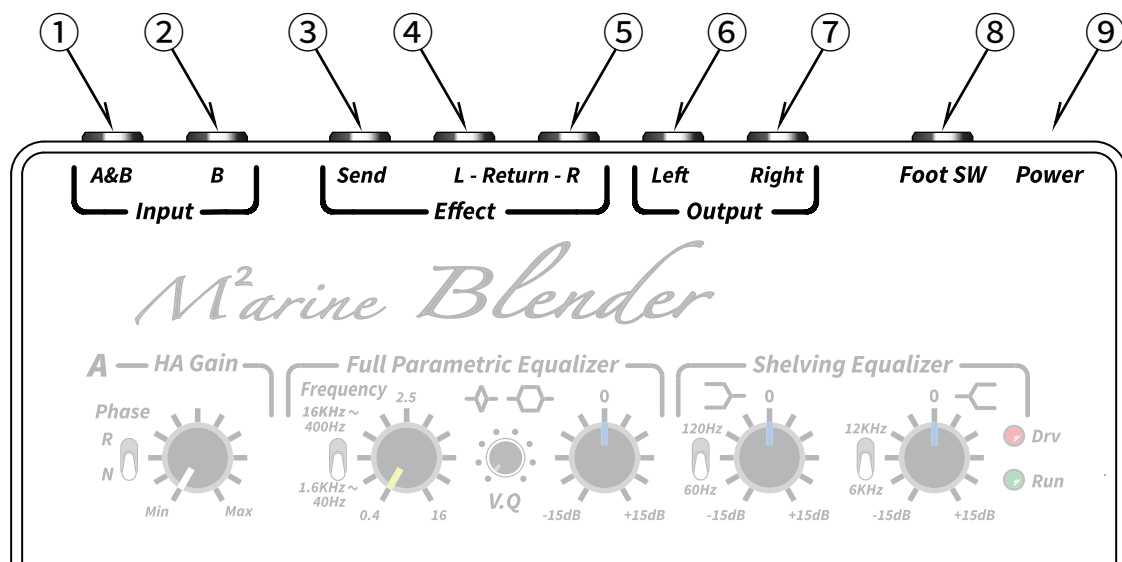
付属品とスタンド組立図



- ① 専用 AC アダプター 1 個
- ② スタンド金具 1 個
- ③ 固定ハンドル 2 個
- ④ リングナット 1 個

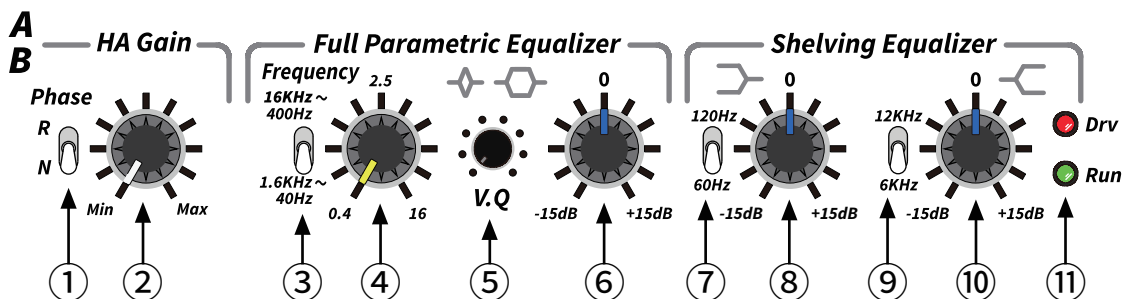
- ⑤ ゴムワッシャー 2 枚
- ⑥ スタンドアダプター 1 個
- ⑦ スタンド変換ネジ 1 個
- 本取扱説明書 1 冊

楽器および各機器への接続



- ① **Input A&B** …………… ギターなどの楽器の出力を接続します。
ダブルピックアップのギターやステレオソースなどで1シールドのTRS接続の場合は、T (チップ) がA chに、R (リング) がB-chに接続されます。
- ② **Input B** …………… ギターなどの楽器の出力をB-chに接続します。
ここに入力すると、Input A&BのB側は無効となります。
- ③ **Effect Send** …………… リバースなどのエフェクターの入力に接続します。
A-chとB-chをミックスした音声信号が、Effect Sendボリュームを介して出力されます。
- ④ **Effect Return-L** …… リバースなどのエフェクターの出力を接続します。
ここにのみエフェクター出力を接続した場合は、Effect Returnボリュームを介してOutput L/R両方に出力されます。
- ⑤ **Effect Return-R** …… エフェクターがステレオタイプの場合はR側の出力を接続します。
ここに接続すると、Effect Return-Lの音声信号はOutput-Lにのみ出力されます。
- ⑥ **Output-L** …………… Masterボリュームを介して内部処理された音声信号が出力されます。
ギターアンプやミキサーに接続します。(TRS バランス出力)
- ⑦ **Output-R** …………… Masterボリュームを介して内部処理された音声信号が出力されます。
ギターアンプやミキサーに接続します。(TRS バランス出力)
- ⑧ **Foot SW** …………… フットスイッチを接続します。
TRS接続でMuteとBoostをコントロールできます。(設定は背面のディップスイッチで行います)
- ⑨ **Power** …………… 付属の専用ACアダプターを接続します。
付属の専用ACアダプター以外のものは使用しないでください。

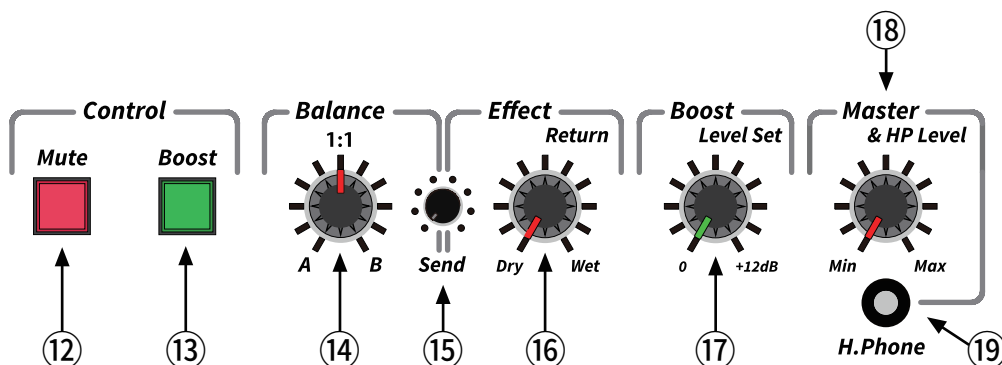
インプットセクション



- ① フェイズスイッチ 入力信号の位相を切り換えます。
- ② ゲインボリューム 入力信号の音量を調整します。
- ③ 周波数レンジスイッチ PEQ^{*1}の周波数の可変範囲を切り換えます。
- ④ 周波数可変ボリューム PEQ^{*1}の中心周波数を設定します。
- ⑤ バリアブルQボリューム 中心周波数に対しての有効幅を設定します。
- ⑥ PEQレベルボリューム ③と④で設定した周波数の音量を調整します。
- ⑦ 低域周波数スイッチ 低域SEQ^{*2}の動作周波数を切り換えます。
- ⑧ 低域レベルボリューム 低域SEQ^{*2}の音量を調整します。
- ⑨ 高域周波数スイッチ 高域SEQ^{*2}の動作周波数を切り換えます。
- ⑩ 高域レベルボリューム 高域SEQ^{*2}の音量を調整します。
- ⑪ レベルインジケータ 音声レベルを表示します。

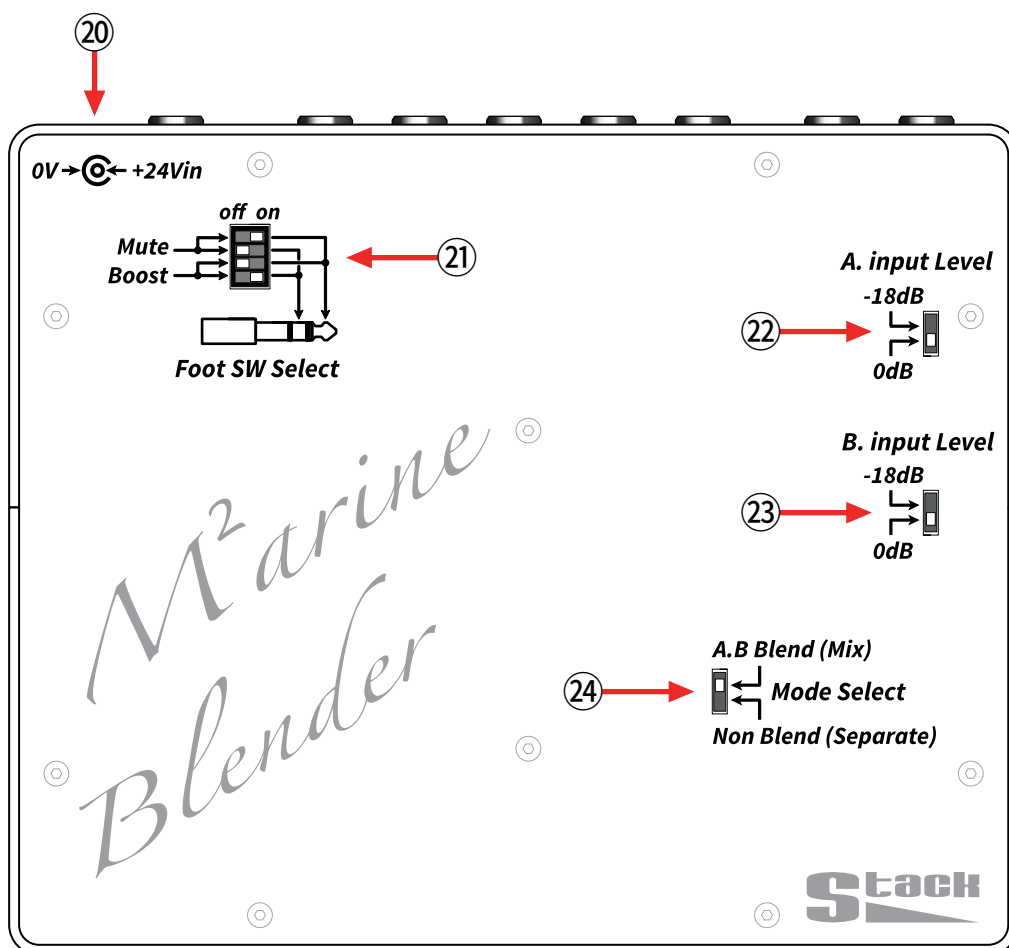
*1 PEQはフルパラメトリック・イコライザーの略です。
*2 SEQはシェルビング・イコライザーの略です。

アウトプットセクション



- ⑫ ミュートスイッチ 全ての音声出力をオン・オフします。
- ⑬ ブーストスイッチ ブースト機能をオン・オフします。
- ⑭ バランスボリューム AとBの音量バランスを設定します。
- ⑮ エフェクトSEND エフェクターに送る音量を調整します。
- ⑯ エフェクトリターン エフェクターの効果を調整します。
- ⑰ ブーストレベル ブースト動作時の音量をセットします。
- ⑱ マスターレベル アウトプットとヘッドホンの音量を設定します。
- ⑲ ヘッドホンジャック ヘッドホンを接続します。

各部機能の概略（リアパネル）



- ②⑩ 電源入力コネクタ 付属の専用ACアダプターを接続します。
- ②⑪ フットスイッチ選択スイッチ … フットスイッチの用途をジャックのチップとリングに割当てます。
- ②② A-ch入力レベル切替スイッチ … オンにするとA-chの入力信号を-18dB下げることができます。
- ②③ B-ch入力レベル切替スイッチ … オンにするとB-chの入力信号を-18dB下げることができます。
- ②④ モード選択スイッチ …………… A-chとB-chをミックスするかセパレートで出力するかを選択します。

※Non Blendを選択した場合、A-chはLeftに、B-chはRightに出力されます。



注意

②⑩の電源入力コネクタには必ず付属の専用ACアダプターを接続してください。
また、付属の専用ACアダプターを他の機器には絶対に使用しないでください。
その機器を破損するおそれがあります。

各部機能の詳細（フロントパネル - 1）

インプットセクション

① フェイズスイッチ

デュアルピックアップのギターなどで、A入力に接続したピックアップとB入力に接続したピックアップ同士が互いに音を打ち消し合うことを防ぐために、位相を切り替えます。

N=ノーマル …… 入力された音声信号は正相で出力されます。

R=リバーズ …… 入力された音声信号は逆相で出力されます。

※位相は楽器に取り付けるピックアップの位置で変化しますので、例えば「マグネチックピックアップはノーマルで、ピエゾピックアップをリバーズにする」など、楽器に合わせて設定します。

分かりにくい場合は、切り替えて音量の大きいほうが音の打ち消しが少ないということです。

※A入力とB入力にそれぞれ異なる楽器を接続する場合は、ノーマル設定が基本になります。

② ゲインボリューム

入力された音声信号が本機内で適切なレベルになるように、ヘッドアンプの音量を調整します。

⑪のインジケーターでDrv（赤のLED）が入力信号の強弱で点滅する程度が適正なレベルです。

また、イコライザーの設定でレベルが上がり過ぎた場合も、このゲインボリュームで調整します。

③ 周波数レンジスイッチ

フルパラメトリック・イコライザー（以下PEQ）の周波数可変範囲を切り替えます。

1.6KHz～40Hzの場合、周波数可変ボリュームの真上（12時の位置）の2.5は約250Hzを示します。

16KHz～400Hzに切り替えた場合は、約2.5KHzを示します。

④ 周波数可変ボリューム

周波数レンジスイッチの設定に従って、調節したい音の中心周波数を設定します。

時計回りに回すと周波数は高くなります。

⑤ バリアブルQボリューム

③と④で設定した周波数を中心に、その前後の影響される周波数の幅を設定します。

時計回りに回すと影響する幅が広くなり、反時計回りに回すと幅が狭くなります。

⑥ PEQレベルボリューム

⑤で設定した周波数の音声を増幅または減衰させる量を設定します。

目盛の0は、増減のないフラットな状態です。

⑦ 低域周波数スイッチ

シェルピング・イコライザー（以下SEQ）の低音域の動作させる周波数を切り替えます。

60Hzは重低音域から、120Hzは中低音域から効果を得られます。

⑧ 低域レベルボリューム

⑦で設定した周波数の音声を増幅または減衰させる量を設定します。

目盛の0は、増減のないフラットな状態です。

⑨ 高域周波数 スイッチ

SEQの高音域の動作させる周波数を切り替えます。

6KHzは中高音域から、12KHzは高音域から効果を得られます。

⑩ 高域レベルボリューム

⑨で設定した周波数の音声を増幅または減衰させる量を設定します。

目盛の0は、増減のないフラットな状態です。

各部機能の詳細（フロントパネル - 2）

⑪ レベルインジケーター

A-ChとB-Chの音声レベルを表示します。

回路内基準レベルの-15dBからRun（緑のLED）が点灯しはじめ、基準レベルでDrv（赤のLED）が点灯します。

※本機は、回路内のダイナミックレンジが大きく、音声が入りやすい設計になっておりますので、

Drv（赤のLED）が入力信号の強弱で点滅している状態が適正な音声レベルです。

アウトプットセクション

⑫ ミュートスイッチ

このスイッチを押して赤いランプが点灯すると、すべての音声出力がオフになります。

もう一度スイッチを押すとランプが消灯し、音声が出力されます。（フットスイッチと連動）

※エフェクトリターンに入力された音声信号は、このスイッチに関係無く出力されます。

⑬ ブーストスイッチ

このスイッチを押して緑のランプが点灯すると、⑰ブーストレベルボリュームで設定したレベル（最大12dB）まで音声信号が増幅されます。

もう一度スイッチを押すとランプが消灯し、元の音量に戻ります。（フットスイッチと連動）

⑭ バランスボリューム

A-Chの音声信号とB-Chの音声信号の音量比を相互に調整することができます。

⑮ エフェクトセンド

外部エフェクターに送る音量を調節します。

リアパネルの⑳モード選択スイッチがBlendのときはAとBがミックスされた音声信号が出力され、Non BlendのときはAの音声信号のみが出力されます。

Bの音声信号は、TRS接続の場合、このボリュームを介さず直接エフェクトセンドジャックのリング側に出力されます。

⑯ エフェクトリターン

外部エフェクター出力からの音声信号の音量を調整します。

エフェクトリターンはミュートされませんので、リバーブ残しやディレイ残しでミュート操作が可能です。

⑰ ブーストレベル

演奏中にソロパートなどで一時的に音量を上げたい場合に使用します。

フットスイッチまたは⑬ブーストスイッチをオンにすると、あらかじめこのボリュームで設定したレベルまで音量が上がります。

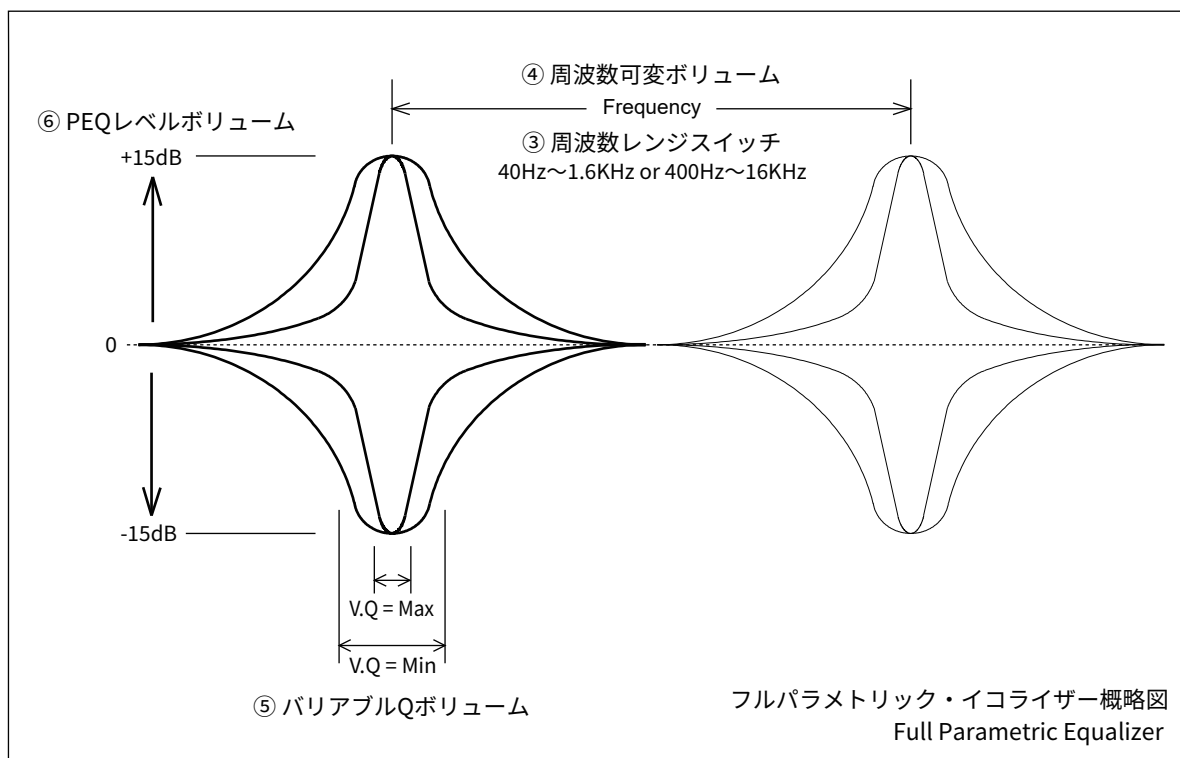
⑱ マスターレベル

出力ジャックの⑥⑦Output-L・Rと⑲ヘッドホンジャックに出力される音声信号の音量を調節します。

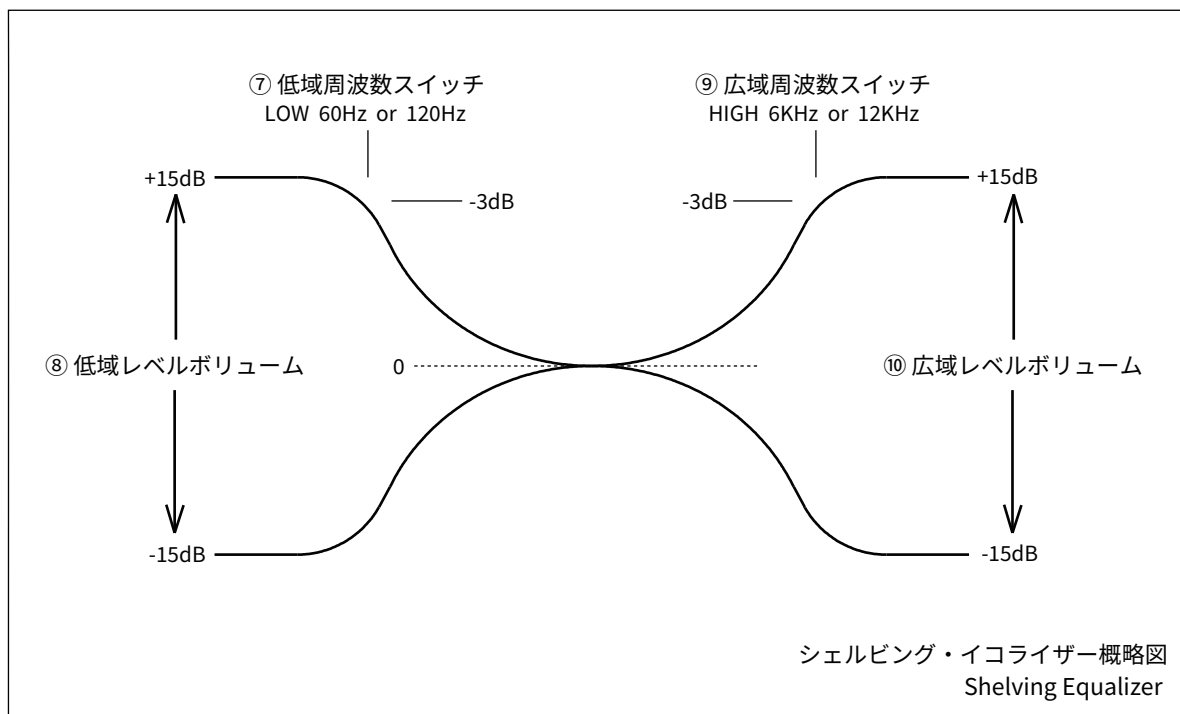
⑲ ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続して音量バランスや音質をモニターすることができます。

イコライザー補足説明

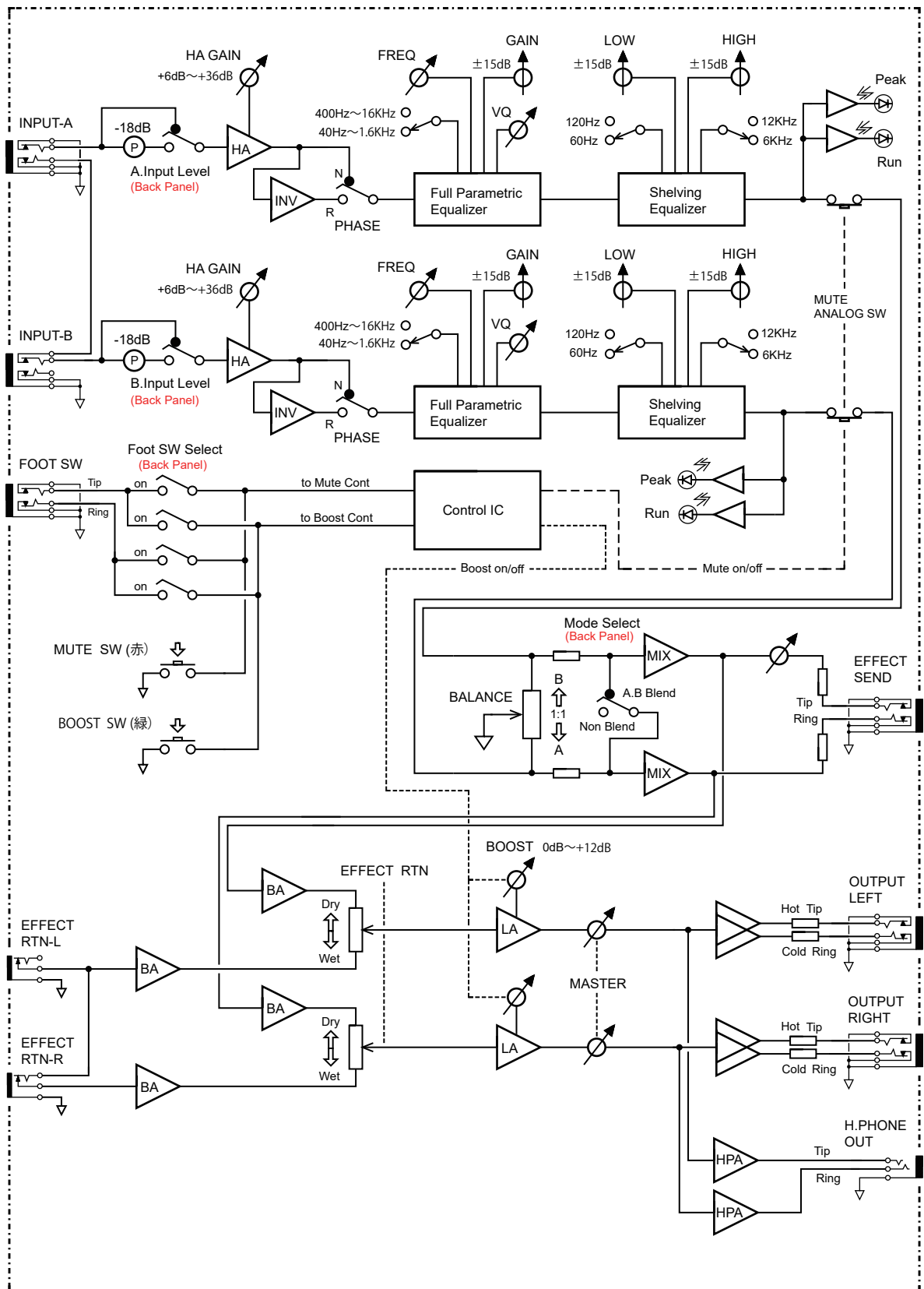


- ・④周波数可変ボリュームで選んだ周波数を中心に、該当する音声信号のみを⑥PEQレベルボリュームで増減させることができます。また、⑤バリアブルQボリュームで影響を受ける周波数の幅を設定できます。



- ・⑦低域周波数スイッチで選択した周波数から低い周波数全域を⑧低域レベルボリュームで増減できます。
- ・⑨高域周波数スイッチで選択した周波数から高い周波数全域を⑩高域レベルボリュームで増減できます。

音声系統図



仕様

系統	名称	仕様	定格
入力	Input A&B	TRS入力時 Tip=A入力 Ring=B入力	ゲイン可変範囲 +6dB～+36dB
	Input B	Mono B入力のみ	ゲイン可変範囲 +6dB～+36dB
	Effect Return-L	アンバランス入力 Mute 非連動	基準入力レベル -10dBs
	Effect Return-R	アンバランス入力 Mute 非連動	基準入力レベル -10dBs
出力	Effect Send	アンバランス出力	基準出力レベル -10dBs
	Output-Left	TRSバランス出力	基準出力レベル -10dBs
	Output-Right	TRSバランス出力	基準出力レベル -10dBs
	H.Phone	ステレオ出力 40mW×2	推奨負荷 12Ω以上
コントロール	Foot SW	Tip と Ring 共に Mute Boost 選択	ローアクティブ アンラッチ入力

フルパラメトリック・シェルピングイコライザー			
PEQ	周波数可変範囲	40Hz～1.6kHz / 400Hz～16kHz	スイッチにて切替
	レベル可変範囲	-15dB ～ +15dB	
	Q 可変範囲	Min=2 Max=10	
SEQ 低域	周波数可変	60Hz / 120Hz	スイッチにて切替
	レベル可変範囲	-15dB ～ +15dB	
SEQ 高域	周波数可変	6KHz / 12kHz	スイッチにて切替
	レベル可変範囲	-15dB ～ +15dB	

電気特性		
周波数伝達特性	10Hz～20kHz ±1dB以内	ゲイン+6dB時
残留雑音値	-80dB以下	IEC-A
歪率	0.05%以下	基準出力 1kHz時

※Input 入力インピーダンス 2MΩ/100kΩ (入力レベルスイッチが-18dBのとき)

※PEQはフルパラメトリック・イコライザーの略、SEQはシェルピング・イコライザーの略です。

※電源は、必ず付属の専用ACアダプターを AC100V～240V 50Hz/60Hz でご使用ください。

本体寸法	約 200mm×167mm×40mm (幅×高さ×奥行) ※突起物を含む
重量	約 900g

オプション製品

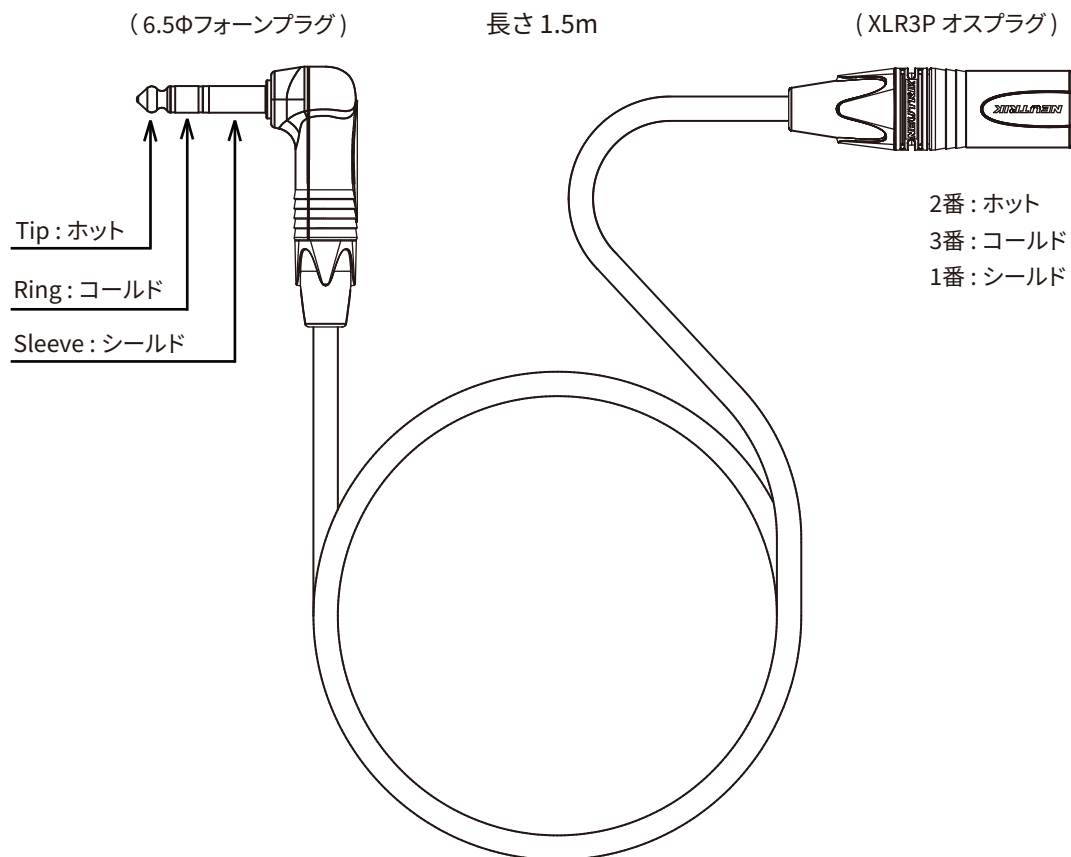
D.I ケーブル (別売)

Blenderのメイン出力を、ミキサーなどのバランス入力の音響機器に接続するための変換ケーブルです。

プラグ内に抵抗が実装されており、Blenderの基準出力レベルを約20dB下げることができます。

これにより、マイク入力しかないミキサーにもBlenderの接続が可能となります。

また、バランス伝送となりますのでケーブルに対する外部ノイズに強く、XLR側にマイクケーブルなどを接続して延長しても問題なくご使用いただけます。



保証とアフターサービス

保証書

この取扱説明書に封入している別紙が保証書となります。
保証書付属の文書の「製品の適用範囲」「保証について」をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証書をなくされた場合、保証期間内でも有償対応とさせていただきます。

保証期間

保証期間は、製品のお届け日より 1 年間です。
保証期間内に自然故障もしくは弊社の責により故障および損傷が発生した場合は、無償修理させていただきます。

保証期間終了後の修理

診断を行い、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

修理の手続きについて

保証書付属の文書の「保証について」に詳しい手続き方法を記載しております。

ご不明な点がございましたら、弊社ウェブサイト (<https://stack-sound.com>) のお問い合わせフォームまたはメールにてお問い合わせください。

株式会社スタック

〒189-0023 東京都東村山市美住町 2-25-1-E

電 話：042-306-2400（受付時間：平日10時 ～ 16時 ※年末年始等を除く）

メール：info@stack-sound.com

サイト：<https://stack-sound.com>

